薬の飲み込みを助けるもの

龍角散の服薬補助ゼリー

水分摂取が制限されている方の服薬にもご使用頂けます

錠剤やカプセル剤の服薬に最適

薬が見えにくいので拒薬傾向のある方にも

誰もが好む味

苦味をマスキング

レモン味（pH約3.7）

ぶどう味(pH約3.7)

いちご味（pH約3.7）

チョコ風味（pH約7.0）

高齢者への使用が増えています

抗生物質や苦い薬の服薬に最適

おくすり飲めたねを
容器に入れて・・・・・

おくすり飲めたね
ぶどう味（pH3.7）

おくすり飲めたね
ぶどう味（pH3.7）

おくすり飲めたね
いちご味（pH3.7）

服薬補助ゼリー活用で
錠剤粉砕は不要！

散剤、顆粒剤、粉薬を服薬する時

顆粒・散剤を
ゼリーの上に置いて・・・・・

ティースプーンを用い、薬をゼリーで包み込み、
スプーンですくってかまずに飲みくだします。

錠剤、カプセルを服薬する時

ティースプーン1杯で包み込める目安
例：直径8mm錠剤で2～3錠は包めます

錠剤・カプセル剤をゼ
リーの上に置いて・・・・・

ティースプーンを用い、薬をゼリーで包み込み、
スプーンですくってかまずに飲みくだします。

ゼリーの性質上、
多少の水分が出てきます。
初回開栓時、最初に出てくる
水分は捨ててからご使用ください。

開栓後は 冷蔵庫で保管し、
1週間以内にご使用ください

チアパックを手でもまないでください（離水の原因となります）

抗生物質や苦い薬には
おくすり飲めたねチョコ風味
チョコレート不使用（pH 7.0）

おくすり飲めたねチョコ風味を
容器に入れて・・・・・

（pH7.0）

ゼリーの性質上、多少の水分が出てきます。
開封時、最初に出てくる水分は捨ててからご使用ください。

スティックを**手でもまない**でください（離水の原因となります）

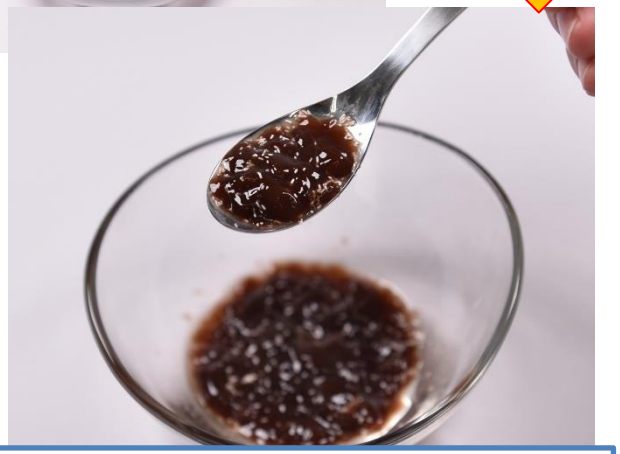
1回使い切りタイプです。開封後は保管せず使い切ってください。

散剤、顆粒剤、粉薬を服薬する時

ティースプーンを用い、薬をゼリーで包み込み、
スプーンですくってかまずに飲みくだします。

顆粒・散剤を
ゼリーの上に置いて・・・・・

顆粒とゼリーが均一になるように
混ぜ合わせてから
服用することもできます。

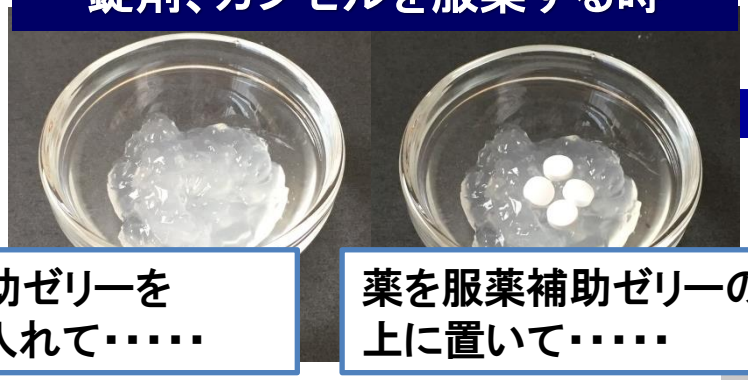


錠剤、カプセルを服薬する時

錠剤・カプセル剤をゼリーの上に置いて**ティースプーン**を用い、ゼリーで包み込み、スプーンですくってかまずに飲みくだします。

（pH3.7）

錠剤、カプセルを服薬する時



服薬補助ゼリーを
容器に入れて・・・・・

薬を服薬補助ゼリーの
上に置いて・・・・・

ティースプーン1杯で包み込める目安
例：直径8mm錠剤で2～3錠は包めます
錠剤の大きさに合わせ調節してください。

ティースプーンサイズのスプーンを用い、
薬をゼリーで包み込み、
スプーンですくってかまずに飲みくだします。

ゼリーの性質上、
多少の水分が出てきます。
初回開栓時、最初に出てくる水分は捨ててからご使用ください。

開栓後は 冷蔵庫で保管し、
1週間以内にご使用ください

チアパックを手でもまないでください（離水の原因となります）

散剤、顆粒剤、粉薬を服薬する時

服薬補助ゼリー活用で
錠剤粉砕は不要！

ティースプーンサイズのスプーンを用い、
薬をゼリーで包み込み、スプーンですくってかまずに飲みくだします。

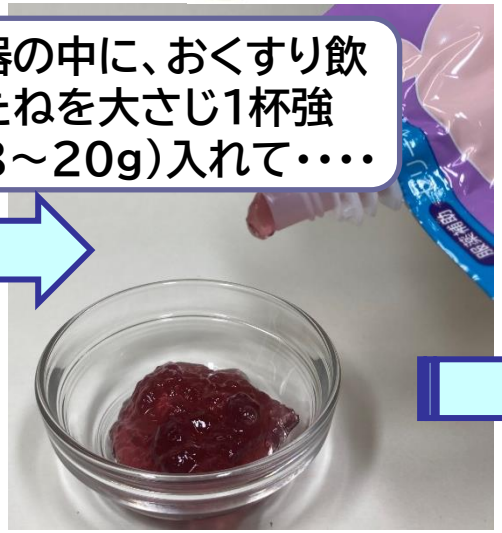
「クレメジン細粒」の服薬方法

開栓後は 冷蔵庫で保管し、1週間以内にご使用ください
チアパックを手でもまないでください（離水の原因となります）

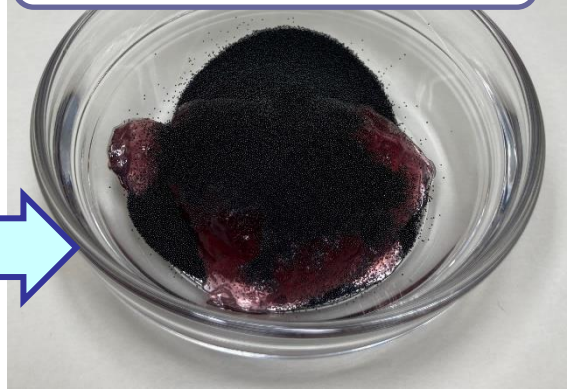
おくすり飲めたねぶどう味
（pH3.7）

注）ゼリーの特性上、初回開封時、最初に出てくる水分は捨ててからご使用ください。

容器の中に、おくすり飲めたねを大さじ1杯強（18～20g）入れて・・・・



クレメジン細粒1回服用量全量をゼリーの上にのせる



クレメジン細粒とゼリーが均一に混ざるようよく混ぜあわせてください

均一になりましたら、ティースプーンで適切な量をすくい取って服薬してください。
3回程度に分けて頂くと服薬しやすいです。

〈服薬のコツ〉
ゼリーだけで舌のまん中より少し奥の方において飲み下す練習して下さい
むせずにつるりと服薬できます。

《漢方薬エキス顆粒の服薬について》

（1） 苦味が強くない漢方薬　例：抑肝散、大建中湯、芍薬甘草湯、葛根湯、麻黄湯など

苦味が強くない漢方薬 ⇒ おくすり飲めたねぶどう味、おくすり飲めたねいちご味

酸味の強い漢方薬（例：小青竜湯、清肺湯など）⇒おくすり飲めたねいちご味が最適

ゼリーを容器に大匙1杯ぐらい（15g前後）だし、
ゼリーの上に**漢方薬エキス顆粒1回服用量全量をのせ**、**ティースプーンで均一になるよう**に**よく混ぜ合わせ**、ティースプーンですくえる量を何回かに分けて服用してください。
上手に飲み込めるこつとして、舌の真ん中もしくは少し奥目において、噛まずにゴックンしてください。
慣れない場合は、ゼリーだけをティースプーンですくい、舌の真ん中もしくは少し奥目において、**噛まずにゴックンする練習を何回か繰り返してから**、実際に漢方薬と混ぜ合わせたゼリーを服用にすると、より飲み込みやすくなります。
おくすり飲めたねいちご味も可能です。

おくすり飲めたね シリーズが最適 ゼリーと混ぜる

（2） 苦味が強い漢方薬　例：黄連解毒湯、半夏瀉心湯など

苦味が強い漢方薬 ⇒ おくすり飲めたねチョコ風味

ゼリーを容器に大匙1杯ぐらい（15g前後、スティック1本18g）だし、
ゼリーの上に**漢方薬エキス顆粒1回服用量全量をのせ**、**ティースプーンで均一になるよう**に**よく混ぜ合わせ**、ティースプーンですくえる量を何回かに分けて服用してください。
ティースプーンですくえる量を何回かに分けて服用してください。
上手に飲み込めるこつとして、舌の真ん中もしくは少し奥目において、噛まずにゴックンしてください。
慣れない場合は、ゼリーだけをティースプーンですくい、舌の真ん中もしくは少し奥目において、**噛まずにゴックンする練習を何回か繰り返してから**、実際に漢方薬と混ぜ合わせたゼリーを服用にすると、より飲み込みやすくなります。

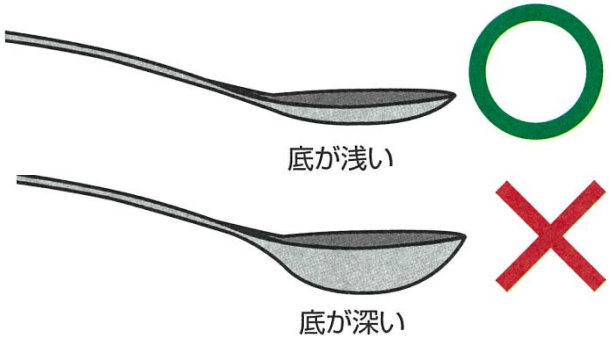
ひと口の分量

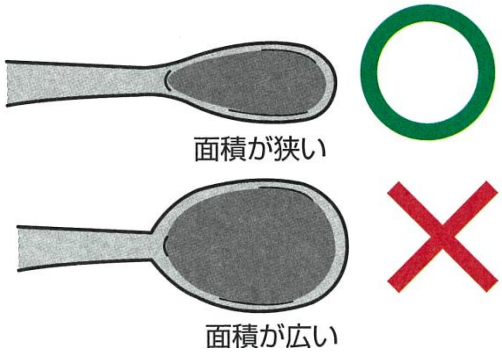
カレースプーンですくうと、量が多めになってしまいがち

たくさんのせられない小さめのティースプーンなどを使う

ひと口で飲める分量だけのせる

ひと口量を考えずにスプーンに山盛りにするのは NG

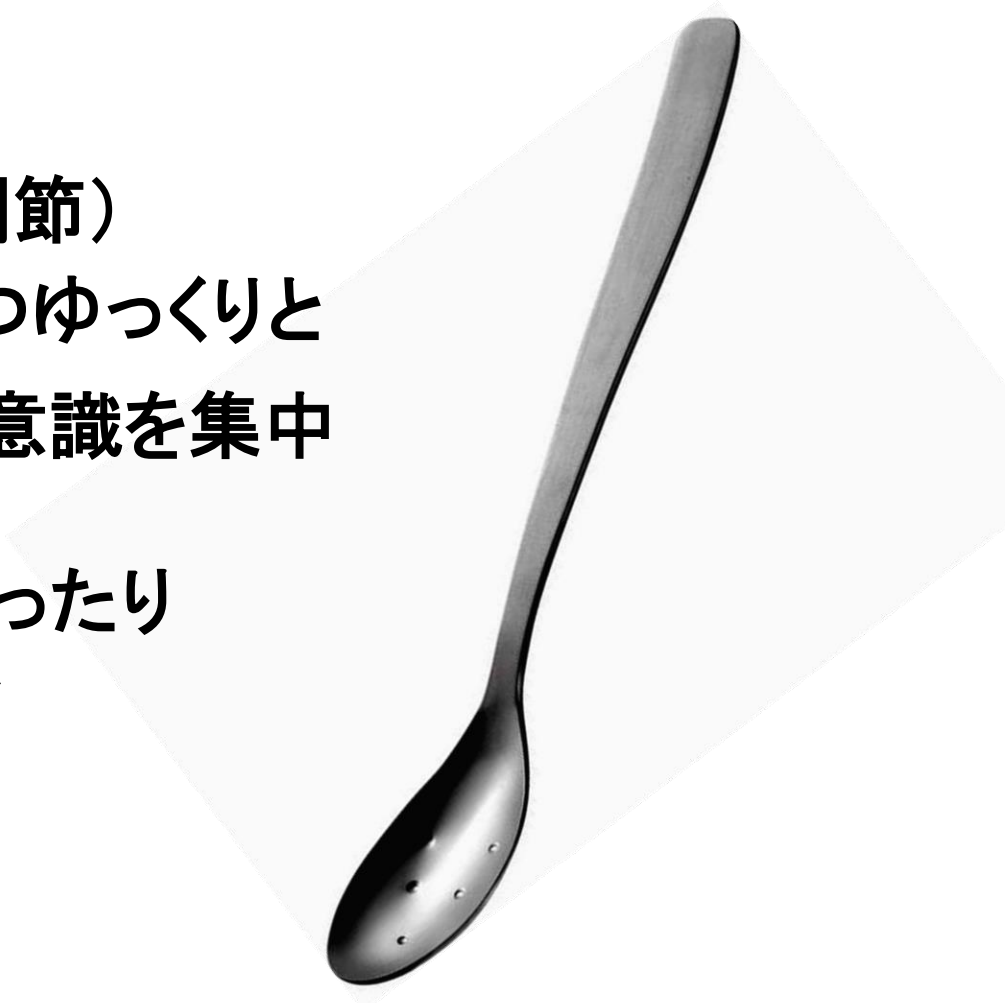




加齢によって一度に飲み込める量は少なくなり、高齢者の一口量は10mL程度と言われます。
例えば、一般的なカレースプーンに載る量は平均で15～20mLなので、多すぎることが分かります。更に、一度に飲み込めずに何度もゴックンと嚥下反射を繰り返すうちに、嚥下と呼吸のタイミングが合わなくなり、むせてしまうこともあります。
こうしたことを避けるために、小さめのスプーンや底の浅いスプーンを使うなど、ひと口の分量が一回で飲み込める量になるようにうまく調節することが必要です。

看護の現場ですぐに役立つ摂食嚥下ケアのキホン（斉藤雅史、松田直美　（株）秀和システム,2018年）

らくらく服薬ゼリー
誤嚥しやすい方への使用方法アドバイス



1. ティースプーンを用いて
   （嚥下の状態に応じて調節）
2. 飲み下せる量を1口ずつゆっくりと
3. そして飲みくだすことに意識を集中
   （静寂な環境）
4. 誤嚥したり、のどにつまったり
   しないよう最後まで観察
5. 服薬が終わっても
   すぐに横にならない
6. 嚥下状態は
   担当の医師、看護師(訪問看護師)、歯科医師、
   言語聴覚士と相談確認

お子様の服薬に際し、親が気をつけるべき留意点

1. NGワードに要注意

子どもにとって『薬』は飲みたくない、
強い口調は、行動する心を閉ざしてしまうことに

- ○ママは忙しいの、何ぐずぐずしてるの
- ○さっさと飲みなさい、ぐずくずしない
- ○なにしてるの、さっさと飲みなさい
- ○こぼさない、もたもたしない
- ○ママのいうこと聞かないなら勝手にしなさい

上手に飲めたら
ほめて上げる（少し大げさに）
「上手に飲めたね」
「がんばったね」

服薬前の余計な説明は、警戒心をあおり逆効果

- ○にがいけど、がまんして
- ○おいしくないけど、がまんして

2. 服薬補助ゼリーを使用する際のポイント

飲み込める量を目安に、ゆっくりとゼリーで服薬
飲み込み終わるまでしっかりと見届ける（誤嚥しないことを確認）
ティースプーンですくえる量が最適!!
大きなスプーンやカレースプーンは飲み込める量と一致しない

《服薬補助ゼリー使用に際しての服薬方法アドバイス》

①スプーンはティースプーンサイズ、カレースプーンや大きなスプーンは使用しない

②あわてず、ティースプーンですくえる量が1回の服薬量として最適、嚥下発達過程の小児も嚥下機能低下傾向にある大人も同じ
（ティースプーン1杯のゼリーで、錠剤なら直径8mmなら2～3錠らくに包めます）

ここがポイント

③先ずは、ゼリーだけをティースプーンですくい、
舌の真ん中より少し奥目において、 ゴックンできるか繰り返し練習する

④それができたら、実際にゼリーで薬を包み込んで、噛まずにゴックン

⑤モグモグしない、咀嚼しては、ゼリーから薬が出てくる可能性あり、飲み込みにくくなる

⑥小児は嚥下機能の発達過程にあり、誤嚥する可能性もあり、飲み込み終わるまで目を離さずしっかり見守る

⑦そして、飲み終えたら、大げさで結構、褒めてあげる

⑧お子様へのNGワードとNG行動にも注意、服薬に際しては、静かで和やかな雰囲気の中、お子様が集中できる環境を

⑩ティースプーンサイズだと、スプーンの上でゼリーを出してから薬を包み込むことは難しいので、容器に飲むお薬の量に合わせ、ゼリーを適量出して行う方が取り扱いやすい